

令和5年度事業報告

I 事業

令和5年度は5月8日に新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を踏まえ、感染症対策による事業休止又は縮小から正常化への転換に取り組み、中小企業のニーズに応え各種支援事業を実施するなど、名古屋市と密接に連携し、公益財団法人として、産業振興施策を推進した。

具体的には、先端技術研究開発の支援やプラズマ技術の普及啓発に努めたほか、中小企業経営や創業・新事業等に関する相談・研修事業、中小企業の技術者の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等を実施した。

また、指定管理者として、名古屋市中企業振興会館等を管理運営し、利用率の向上に努めた。

さらに、エネルギー価格や原材料費など様々なものが高騰しているものの、適切に価格転嫁できていない中小企業に対し、取引先との価格交渉等の価格転嫁に向けた取り組みを促進するため、「中小企業価格転嫁促進支援金」を支給した。

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	収益	40,768千円
		費用	40,768千円
		差額	0千円

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関等に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援した。

なごやサイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・ 国立研究開発法人理化学研究所
「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」
- ・ 公益財団法人名古屋産業科学研究所
「SiC単結晶を用いた高精度切削工具の研究開発」
「触覚センサ付きロボットハンドによる加工食品のハンドリングに関する研究開発」

2	プラズマ技術産業応用支援事業	収益	19,918千円
		費用	25,092千円
		差額	△5,174千円

「プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）」の会員をはじめ、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業に対して、名古屋市工業研究所と連携し、プラズマに係る技術相談等の支援を行うとともに、地域の研究機関と連携して地域企業の振興に取り組んだ。

また、最新のプラズマ技術及びその周辺技術をテーマにした講演会等を開催、メーリングリストによる関連団体のプラズマ関連情報の配信等により、プラズマ技術全般に関する情報提供を行った。

(1) プラズマに関する技術支援

名古屋市工業研究所と連携をとりながら、専門的知識・経験を有する職員が企業からの技術相談に対応した。

〔 技術相談 4 社 4 件 〕

(2) PLAMの運営

〔 会員企業 3 1 7 社 〕
〔 講演会・見学会開催 1 回 〕
〔 参加者 2 7 人 〕
〔 講演会開催 1 回 〕
〔 参加者 3 9 人 〕

(3) プラズマ周辺技術に関する情報提供

〔 セミナー 8 回 〕
〔 参加者 3 0 5 名 (内オンライン1 3 3 名) 〕

3	共同研究事業	収益	224,735 千円
		費用	224,735 千円
		差額	0 千円

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の管理運営を行った。

- 〔 戦略的基盤技術高度化支援事業 (※経済産業省の補助事業) 〕
- ・テーマ 「Society5.0 の実現に不可欠な超小型デジタル部品の生産性を飛躍的に高めるバレル研磨法の開発」 (令和3～5年度事業)
 - ・テーマ 「マグネタイト複合ニッケルめっきの開発及びナノ粒子分散技術の最適化による分散度測定装置の開発」 (令和3～5年度事業)
 - ・テーマ 「溶液を使用しない環境に優しいアルミニウムの新表面処理「水蒸気プロセス」とその設備の開発」 (令和3～5年度事業)
- 〔 成長型中小企業等研究開発支援事業 (※経済産業省の補助事業) 〕
- ・テーマ 「海外燃焼規格適合の難燃性エラストマーを用いた鉄道車両用超耐久性部品の開発」 (令和4～6年度事業)
 - ・テーマ 「免疫強化作用を訴求した3種の機能性米セラミド食品原料の研究開発および事業化」 (令和5～7年度事業)
 - ・テーマ 「油中微粒子の組成をリアルタイムに計測する掌サイズのプロアクティブセンサの開発」 (令和5～7年度事業)
 - ・テーマ 「燃料電池用の白金代替、削減非貴金属触媒電極・電解質膜接合体MEAシートの開発電池」 (令和5～7年度事業)
 - ・テーマ 「抗原抗体反応及び電気化学を応用したポータブル型微量成分濃度計測装置の開発」 (令和5～7年度事業)

4	研究開発促進事業	収益	16,202 千円
		費用	16,571 千円
		差額	△369 千円

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

(ア) 医療・福祉・健康分野

- ・ヒューマンインターフェイス研究会

開催 2回 参加者 66人

(イ) ロボット・ICT分野

- ・Nagoyaオープンイノベーション研究会 (Nova)

開催 2回 参加者 128人

(ウ) ものづくり技術分野

- ・CAEを活用したものづくり研究会

開催 1回 参加者 22人

- ・ファインバブル技術産業活用研究会

開催 1回 参加者 82人

(エ) デザイン分野

- ・ものづくりデザインプラットフォーム

開催 3回 参加者 47人

(オ) 先端技術分野

- ・革新的技術研究会

開催 1回 参加者 26人

(2) 医療介護機器等高度化支援事業

- ・ヘルスケアイノベーション推進会議

開催 2回 参加者 23人

- ・ヘルスケアイノベーション会議総会講演会

開催 1回 参加者 129人

- ・介護機器開発チャレンジワークショップ

開催 3回 参加者 76人

- ・医療介護機器等実証評価

評価件数 5社5製品

- ・展示会出展 (ウェルフェア2023)

5	新事業創出支援事業	収益	892,040 千円
		費用	894,998 千円
		差額	△2,958 千円

(1) 相談、専門家派遣、創業研修事業等

ア 相談事業

中小企業経営、創業・新事業等を支援するため、中小企業診断士等の資格を有するマネージャーが窓口相談や企業訪問によるアドバイス等を行った。

中小企業からの経営相談として、原材料費の高騰、インボイス制度等中小企業をめぐる外部環境の変化に対応していくため、売上の回復、収益性の改善の他、新規事業への取り組みに関する事業計画の作成をはじめ、持続的な発展を遂げるために必要な取り組みについての内容が多く寄せられた。

また、窓口相談等で相談のあった企業の中から継続的な支援の必要性のある企業を選定し、成果目標が達成されるよう各分野の専任マネージャーで構成したチームによる伴走型相談支援を実施した。

さらに、名古屋市内の中小企業のデジタル化活用を推進していくために実施した「中小企業デジタル活用支援補助金」についての事前相談を実施した。

相談企業	989社・者
相談等延件数	2,691件
※上記のうち、中小企業デジタル活用支援補助金の事前相談187件	
伴走型相談支援	
重点支援企業数	30社・者
相談件数	168件
成果目標達成企業数	4社・者

イ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣（経営改善・創業・新事業）

経営改善等に取り組む中小企業に対して、中小企業診断士等の専門資格を持つ人材を派遣し、現場で実践的な支援を行った。

派遣企業	104社
派遣回数	277回

(イ) 専門家派遣（工業技術・技能指導）

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者（テクノアドバイザー）として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業	3社
派遣回数	17回

ウ 創業研修事業

名古屋市内で起業を目指す方・起業に関心のある方を対象に、創業時に必要な情報や創業の魅力等について提供するため、創業セミナーを開催した。

開催日	令和5年5月15日（月）、11月29日（水）
場所	ナゴヤイノベーションズガレージ
参加者	109人

エ 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関（22支援機関）の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議及び担当者会議を開催した。

(2) 小規模企業経営力強化支援事業

小規模企業の生産性向上による経営力の強化を図るため、小規模企業経営アドバイザーの訪問等による各種相談のほか、小規模企業経営基盤強化設備投資補助金の交付事務及び認定事務を行った。

小規模企業経営アドバイザー	
相談企業	316社・者
相談件数	593件
小規模企業経営基盤強化設備投資補助金（令和5年度）	
交付件数	42件
小規模企業経営基盤強化設備投資補助金（令和6年度）	
認定件数	35件

(3) ビジネスマッチング事業

ア ビジネスプラン発表会の開催

新事業に取り組む中小企業の販路拡大や事業提携を支援するため、公益財団法人あいち産業振興機構等と共催でビジネスプラン発表会を開催した。

プラン発表企業	2社
発表会参加者	107人

イ ものづくり企業技術・販路マッチング支援事業の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の技術探索や営業活動が困難になっている中小製造業に対し、オンライン展示会等への出展支援や、製造業を専門にマッチングを行う企業を活用した新規顧客獲得・新分野進出の支援を行った。

技術募集情報の提供	49社
オンライン展示会等への出展支援	32社
PR動画制作補助金	6社
マッチングの伴走支援	10社
コーディネーター（支援統括担当、技術担当、WEBマーケティング担当）によるサポート	286件
※コーディネーターによるサポート件数は、「(1)ア 相談事業」の相談等延件数を含む。	

(4) 中小企業デジタル活用支援事業

中小企業の経営基盤の強化を図るため、賃上げを含む経営課題の解決に資するデジタル技術の活用を支援した。

中小企業デジタル活用支援マネージャー	
相談企業	150社・者
相談件数	171件
中小企業デジタル活用支援補助金	
交付件数	49件

(5) 創業支援施設の入居企業への支援

ア インキュベーションマネージャーによる支援

名古屋ビジネスインキュベータ（nabi/金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi/白金）の入居企業への支援及び誘致を行った。

研修会等の開催	34回
経営相談	847件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを2名配置し、入居者への支援を行った。

イ 創業ルームの運営

名古屋ビジネスインキュベータ（nabi/金山）及び名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi/白金）において、小規模区画を創業希望者等に廉価で貸与したほか、名古屋ビジネスインキュベータ（nabi/金山）の一部区画については女性専用の「女性創業ルーム」として貸与した。

ウ 創業準備ルームの運営

名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi/白金）において、市内での創業予定者に6か月間無料でブースを提供するとともに、マネージャー（創業担当）等による研修及び相談支援を行った。

第25期・第26期利用者	28人
令和5年度創業者	11人

(6) 中小企業価格転嫁促進支援金

エネルギー価格や原材料費の高騰、労務費の上昇を受けているものの価格転嫁が進んでいない中小企業に対し、取引先との価格交渉等の価格転嫁に向けた取り組みを促進するため、支援金を支給した。

申請等を行う事業者の事前相談には、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社と連携しながら対応した。

交付件数	9,699件
------	--------

(7) ドローンロボット活用事業創出支援事業

市内中小企業へのドローンの実装を推進することで、ドローン技術の産業応用を推進し、新たな価値を創造する産業を振興するため、市内中小企業へのドローン操縦者育成に要する経費の一部を補助した。

また、ドローンビジネスの普及啓発を図るため、セミナーを実施した。

補助金交付選定企業	7社	
セミナーの開催	1回	44人

6	普及啓発・情報提供事業	収益	62,666千円
		費用	71,339千円
		差額	△8,673千円

(1) 普及啓発事業

ア なごや・サイエンス・ひろば

市民、とりわけ子ども達に科学技術に対する理解と関心を深めてもらうため、なごやサイエンスパーク内の研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介及び科学技術に関するイベント等を行う「なごや・サイエンス・ひろば」を実施した。

開催日	令和5年8月26日(土)
場所	なごやサイエンスパーク サイエンス交流プラザ
参加者	1,503人

イ 研究成果普及啓発事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの研究者・技術者に向けて研究成果の発表や交流の場を提供することで、研究成果の普及を図るとともに産学行政の連携活動を支援した。

テクノヒル連絡会議の開催	1回	14人
サイエンスカフェの開催	1回	33人

ウ 「ナゴヤファッションコンテスト2023」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日	第1次審査会	令和5年6月5日(月)
	最終公開審査会	令和5年9月14日(木)
場所	第1次審査会	台東区民会館
	最終公開審査会	デザインホール (ナディアパーク・デザインセンタービル)
応募作品	8,096点(うち海外からの応募作品234点)	
来場者	698人(最終公開審査会)	

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催	5回
参加者	217人

(3) 異業種交流グループの活動支援

異業種企業の相互ネットワーク作りや情報交換を促進するため、講習会や講演会、並びに見学会等を実施した。

講習会・講演会	27回
優良企業の見学会・交流会	28回
他都市の先端企業の見学会・交流会	4回
会員交流会等	4回

(4) ものづくり技術講演会・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「生産性向上によるカーボンニュートラルの実現へ！」をテーマとした、ものづくり技術講演会を名古屋市工業研究所と共催で開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを名古屋市と共催で実施した。

ア ものづくり技術講演会

開催日	令和6年2月16日(金)
場所	名古屋市工業研究所
参加者	151人

イ 工業技術グランプリ

受賞数	10件(2社による共同申請含む)
※ものづくり技術講演会で受賞企業及び受賞事例を紹介	

(5) 情報提供・交流フロアの運営

産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料(約4万冊)を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者	4,393人
情報交流フロア利用者	10,177人

7	産業人材育成事業	収益	48,465 千円
		費用	47,061 千円
		差額	1,404 千円

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

工業技術に関する研修、講座等を名古屋市工業研究所等と連携して開催することにより、従業員の技術及び技能の向上を図り、中小企業におけるものづくり人材の育成、技術・技能の継承等を支援した。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習

電子回路技術研修など10コース		
受講者	106社	128人

イ 中小企業技能者育成講座

熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座

鉄工（構造物鉄工作業）技能士受検対策講座など3コース		
受講者	26社	37人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会等（ものづくり支援講座10コース（キ～コは令和5年度の試行実施））を開催した。

ア 産業用ロボット作業員特別教育講習会

〔開催年7回 受講者	61社	96人〕
------------	-----	------

イ 現場管理者の生産管理（トヨタ生産方式）研修

〔受講者	13社	23人〕
------	-----	------

ウ 機械設計図面の見方・読み方研修

〔受講者	19社	27人〕
------	-----	------

エ 機械設計図面の描き方研修

〔受講者	10社	13人〕
------	-----	------

オ 知的財産担当者養成講座

〔受講者	(前期) 4社	5人
	(後期) 4社	5人

カ 機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修

〔受講者	10社	13人〕
------	-----	------

キ AI ロボットカーの自動運転ハンズオン

〔受講者	4社	4人〕
------	----	-----

ク Arduino（アルドゥイーノ）で学ぶマイコンハンズオン

〔受講者	5社	6人〕
------	----	-----

ケ 知的財産戦略と最新の法改正

〔受講者	10社	10人〕
------	-----	------

コ 工場生産ラインへのロボット導入前さばき技術

〔 受講者 4社 5人 〕

(3) 技術経営 (MOT) 研修

経営の視点から技術戦略を検討する人材育成のため、(公財) 科学技術交流財団、(公財) 名古屋産業科学研究所と共催でMOT研修 (基礎コース・実践コース) を実施した。

〔 受講者 基礎コース 47人
実践コース 9人 〕

8	工業技術情報提供事業	収益	4,559千円
		費用	6,795千円
		差額	△2,236千円

(1) 新春講演会の実施

〔 開催日 令和6年1月26日 (金)
場 所 名古屋クレストンホテル
内 容 「半導体産業の世界バトルの主役の一角はニッポン! ~自動車、装置、材料がキーワードになる時代」
講 師 株式会社産業タイムズ社
代表取締役会長 泉谷 渉 氏
参加者 57人 〕

(2) 「技術のひろば」の発行

〔 発行 2回 発行部数 各1,500部 〕

(3) 商品展示・カタログ展示

ア 商品展示

〔 展示場所・企業数 ナディアパーク・デザインセンタービル 6社 〕

イ カタログ展示

〔 展示場所・企業数 名古屋市中小企業振興会館 44社
名古屋市国際展示場 (ポートメッセなごや) 44社
名古屋市工業研究所 46社 〕

(4) 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

(5) 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

(6) 賛助員の企業情報を発信

公社ウェブサイトに掲載を希望する賛助員企業を紹介

〔 賛助員数 231社 (令和6年3月31日現在) 〕

(7) 知的財産普及啓発活用事業

ものづくり企業の競争力の更なる向上を図るため、中小企業が活用したい特許ニーズを聞き取り企業間のマッチングを支援したほか、知的財産に関する講演会を開催した。

特許ニーズの聞き取り	15社
講演会の開催	1回 19人

(8) 新技術産業応用支援事業

中小企業の製造現場等を取り巻く新たなニーズに対応するため、実用的なAI技術に関する講演会を開催した。

講演会等の開催	2回 19人
---------	--------

9	経済交流・誘致促進事業	収益(※)	158,702千円
		費用	158,634千円
		差額(※)	68千円

※収益には積立資産取崩額(6,350千円)及び見本市展示会開催助成金(2,000千円)を含む。

(1) 外資系企業等誘致の推進

愛知県、名古屋市及び当公社で組織するコンソーシアム(INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM)により、外資系企業を対象に展示会の出展支援、ならびに外資系企業ネットワーク懇談会を開催した。また、当地域への誘致を図るため、国際見本市や展示会等の出展企業を訪問し、進出有望企業の発掘を行った。

外資系企業の誘致件数	5件
メッセナゴヤ2023への共同出展	8社
外資系企業ネットワーク懇談会	参加者90人

(2) 見本市・展示会の開催

関係団体と共同で、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市を開催し、地域産業の発表の場、交流の場を提供した。

ウェルフェア2023～福祉・医療・健康の総合展～

開催日	令和5年5月25日(木)～27日(土)
場所	吹上ホール
出展者	100社・団体
来場者	6,972人
内容	「医療関係」、「介護予防・健康維持」、「日常生活支援」、「医療、介護施設、住宅用設備機器」及び「感染症予防対策」などの分野で、福祉、医療、健康について、幅広く展示紹介

建設技術フェア2023 in 中部

開催日	令和5年12月6日(水)～7日(木)
場 所	ポートメッセなごや第3展示館
出展者	377社・団体
来場者	16,040人
内 容	国土交通省中部地方整備局と共催で、産学官の技術情報交流の場を提供し、技術開発の現状と方向性、新技術の導入等を紹介(中部ライフガードTECと同時開催)

第11回中部ライフガードTEC2023～防災・減災・危機管理展～

開催日	令和5年12月6日(水)～7日(木)
場 所	ポートメッセなごや第3展示館
出展者	59社・団体
来場者	16,040人
内 容	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議と共催で、BCP・BCM 関連、避難・備蓄対策、地震対策等を展示紹介

なお、「ウェルフェア2023～福祉・医療・健康の総合展」は令和5年度をもって事業を終了、例年2月に開催していた「第13回次世代ものづくり基盤技術産業展-TECH Biz EXPO2024-」は令和6年5月22日(水)・23日(木)へ会期を変更した。

10	関係団体事務受託事業	収益	3,277千円
		費用	4,782千円
		差額	△1,505千円

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

団体名・代表者	助言者	会員数
テクノプラザナゴヤ88 会長 株式会社吉田SKT 代表取締役会長 吉田 由孝	元名古屋市工業研究所 所長 山下菊丈	22社
テクノプラザナゴヤ001 会長 名古屋樹脂工業株式会社 代表取締役社長 伊藤 誠一	名古屋工業大学 准教授 矢野卓真	18社
テクノプラザナゴヤ90 会長 萩原電気ホールディングス株式会社 名誉会長 萩原 義昭	元名古屋市工業研究所 所長 濱田幸弘	21社
テクノプラザナゴヤ91 会長 複合資材株式会社 代表取締役社長 尾藤 正儀	元名古屋市工業研究所 材料化学部長 福田博行	10社

- (2) 各種研究団体
 中部生産加工技術振興会（令和6年3月31日をもって解散）
 中部塗装技術研究会
 中部歯車懇話会
 中部溶接振興会
 名古屋テキスタイル研究会
 日本カム工業会
 鍍金技術研究会
 東海無機分析化学研究会

11	産業振興施設の管理運営	収益	1,048,857千円
		費用	1,004,932千円
		差額	43,925千円

(1) 展示施設

施設名	利用件数	利用日数
名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール	81件	236日
第1ファッション展示場	89件	202日
第2ファッション展示場	87件	214日
デザインホール	114件	188日

(2) 研究開発・支援施設

ア 名古屋ビジネスインキュベータ、名古屋ビジネスインキュベータ白金

名古屋ビジネスインキュベータ（nabi/金山）	入居23社
	（令和6年3月31日現在）
名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi/白金）	入居40社
	（令和6年3月31日現在）

イ サイエンス交流プラザ

インキュベータ入居	9室	（令和6年3月31日現在）
大会議室利用	55件	
中会議室利用	63件	

【収益事業等の実施】

1	施設管理附帯事業	収益	53,711千円
		費用	23,949千円
		差額	29,762千円

名古屋市中小企業振興会館等の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務や自動販売機の維持管理を行ったほか、催事案内を掲載したイベントカレンダーを作成した。

施設管理附帯事業収益（主なものを掲載）

貸出備品使用料収益	37,459 千円
自動販売機売上等手数料収益	12,167 千円

2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	収益	62,634 千円
		費用	79,617 千円
		差額	△16,983 千円

名古屋市中企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行った。